



海上ジオクルーズ研修



1 研修の目的

11月17日(日)、錦江湾内を巡るジオクルーズ研修に本校から10名の生徒が参加しました。この研修は、霧島市観光協会が、地元の高校生に若者に鹿児島湾の貴重な地形や地質を知ってもらい、霧島、桜島・錦江湾ジオパークへの関心を高めることを目的として開催したものです。来年、韓国済州島で開催されるユネスコ世界ジオパーク国際会議に参加する本校生にとっては、ジオパークへの理解を深める絶好の機会となりました。



2 コースの概要

隼人新港→隼人三島(神造島:辺田小島・弁天島・沖小島)→新島(上陸し、クロマツなどの植生や貝化石地層を観察)→大燃崎→桜島南岳昭和火口・山頂火口→塩屋ヶ元港(昭和溶岩・天平宝字溶岩)→黒神埋没鳥居→牛根麓地区始良カルデラ壁→ブリ養殖生簀→若尊神社→霧島連山眺望→隼人新港帰港

3 研修の成果

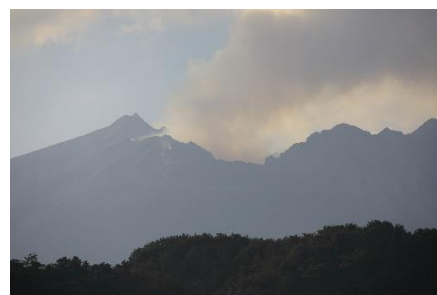
研究班ごとの討議の場で、本校生は積極的に発言し、主体的に研究に取り組む姿勢が生まれていることを頼もしく思いました。フィールドワークによる貴重な体験により、ジオパークに関する知識はもちろん、探求活動への新たな視座を得ることができ、研究への意欲がさらに高まったようでした。霧島ジオパーク関係の方々やネイチャーガイドの皆様、ありがとうございました。



クルーズ船に載って出発



新島探検



大隅半島側から見た桜島山頂



第一工業大学との高大連携協定調印式



本校は地元霧島市にある第一工業大学と高大連携協定を結び、11月22日(金)に協定書調印式が行われました。同大学にはこれまでも本校生の課題研究の指導や研究室訪問の受け入れなど、さまざまなお協力をいただいていたが、本協定により、さらに包括的な連携ができることを期待しています。将来的には、入学後の単位認定を視野に入れた同大学講義の視聴などカリキュラムの開発、課題研究における共同研究や共同開発、さらには、本協定を核にした霧島市産学公民連携コンソーシアムの形成など、連携の深化と発展を目指しています。



第一工業大学学長(左)と本校校長(右)